

水辺の 環境



オニコナスビ

サクラソウ科オカトラノオ属 *Lysimachia tashiroi*

オニコナスビは、九州中北部の山地や丘陵地の溪谷林縁にまれに見られる多年草です。茎は太く地表を這うように伸び、褐色の軟毛が密に生えています。葉は対生し、長さ 2~4cm、幅 1.5~3cm、広卵形でやや厚く、先は円いか少しへこんでいます。7~8 月になると、主茎から分枝した茎の先端に 1~5 個の花をつけます。花冠は一部が朱色を帯びた黄色をしており、径は 1.5cm、5 つの裂片に分かれ、長楕円形で先は円くなっています。小さいながらも鮮やかな花は、カメラの被写体としても人気があります。

環境省のレッドリストでは絶滅危惧 I B 類に指定されているほか、福岡県、大分県、熊本県、佐賀県でも絶滅危惧 I 類※に相当するカテゴリに指定されています。特に沢沿いに見られる個体群は、

大雨の増水などにより容易に影響を受けやすく、絶滅の危険性が高いと指摘されています。熊本県では、五木村^{いづみ}で生育していましたが、近年では確認できない状況が続いており、既に絶滅した可能性もあります。

筑後川水系の小石原川ダムでは、事業実施区域内にオニコナスビの自生地があり、事業により直接的な影響を受けることから、専門家の指導・助言を得ながら保全対策として個体の移植を実施しています。平成 14 年度以降、これまでに数回の移植試験を実施しており、試験地ではその後も生育が確認されています。今後も継続してモニタリングを実施していきます。

※ レッドデータブック統一カテゴリ

参考文献

- ・「日本の野生植物(草本Ⅲ)」 平凡社 1982 年
- ・「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック— 8 植物 I (維管束植物)」環境庁編 2000 年
- ・「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」平成 19 年 8 月 3 日 報道記者発表資料 環境省
- ・「福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック 2001—」平成 13 年 3 月 福岡県
- ・「改訂・熊本県の保護上重要な野生動植物—レッドデータブックくまもと 2009—」平成 21 年 3 月 熊本県
- ・「レッドデータブックおおいた 2011 大分県の絶滅のおそれのある野生生物」平成 23 年 3 月 大分県
- ・「レッドデータブックさが 2010 植物編 佐賀県の絶滅のおそれのある野生生物」平成 23 年 3 月 佐賀県